

2021年度

理学部カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施方針）

理学部	<p>自然科学の幅広い分野にわたる基礎知識を有することは、卒業後の選択肢を広げるとともに、専門分野の深化にも役立ちます。そこで各学科とも、専門分野を中心に据えるとともに、他分野の基礎知識・技法をも学べるカリキュラムを編成します。また、講義によって得た知識を実習・演習を通して体得し、より確実な知識として確立できるようにカリキュラムを編成します。このようなカリキュラム編成の集大成として卒業研究を行います。</p>
物理学科	<p>多彩な自然現象や物質の性質を解明するための基礎力を養い、活用できる能力を身に付けさせるため、以下のカリキュラムを設定します。①1、2年次は、基礎力の充実のため、物理学、数学で構成された物理コア・カリキュラムを中心に配置、②3年次にはアドバンスト・コース選択科目として、高い専門性を有する講義を展開、③広範な応用力を養うため各年次に情報科学、生命物理学の講義を配置、④少人数単位の演習、実験科目によるきめ細かな教育を実施。</p>
化学科	<p>自然現象を物質の性質とその変化から理解し、実社会における製品生産、環境保全に活用できる基礎知識と実践能力を身に付けさせるため、以下のカリキュラムを設定します。①1年次に物理化学、物質化学の基礎専門科目を配置、②2、3年次に物質探究の主要な方法論となる構造、反応、機能、合成に関する、より専門性の高い科目を展開、③少人数単位の演習、実験科目（物質論、反応論から測定論、プレゼンテーション訓練を含む）によるきめ細かな教育を実施。</p>
生物科学科	<p>普遍的な生命現象のしくみを理解し、生物学や基礎医学などの多岐にわたる分野で活躍できる幅広い知識及び研究能力を身に付けさせるため、以下のカリキュラムを設定します。①1年次に生命科学への導入として生物科学入門、生物化学を開講、②2、3年次には生命科学の土台となる分子生物学や細胞生物学に加え、高い専門性を有する発生学や免疫学の講義・実習を配置、③幅広い分野にわたる少人数単位の実習科目によるきめ細かな教育を実施。</p>